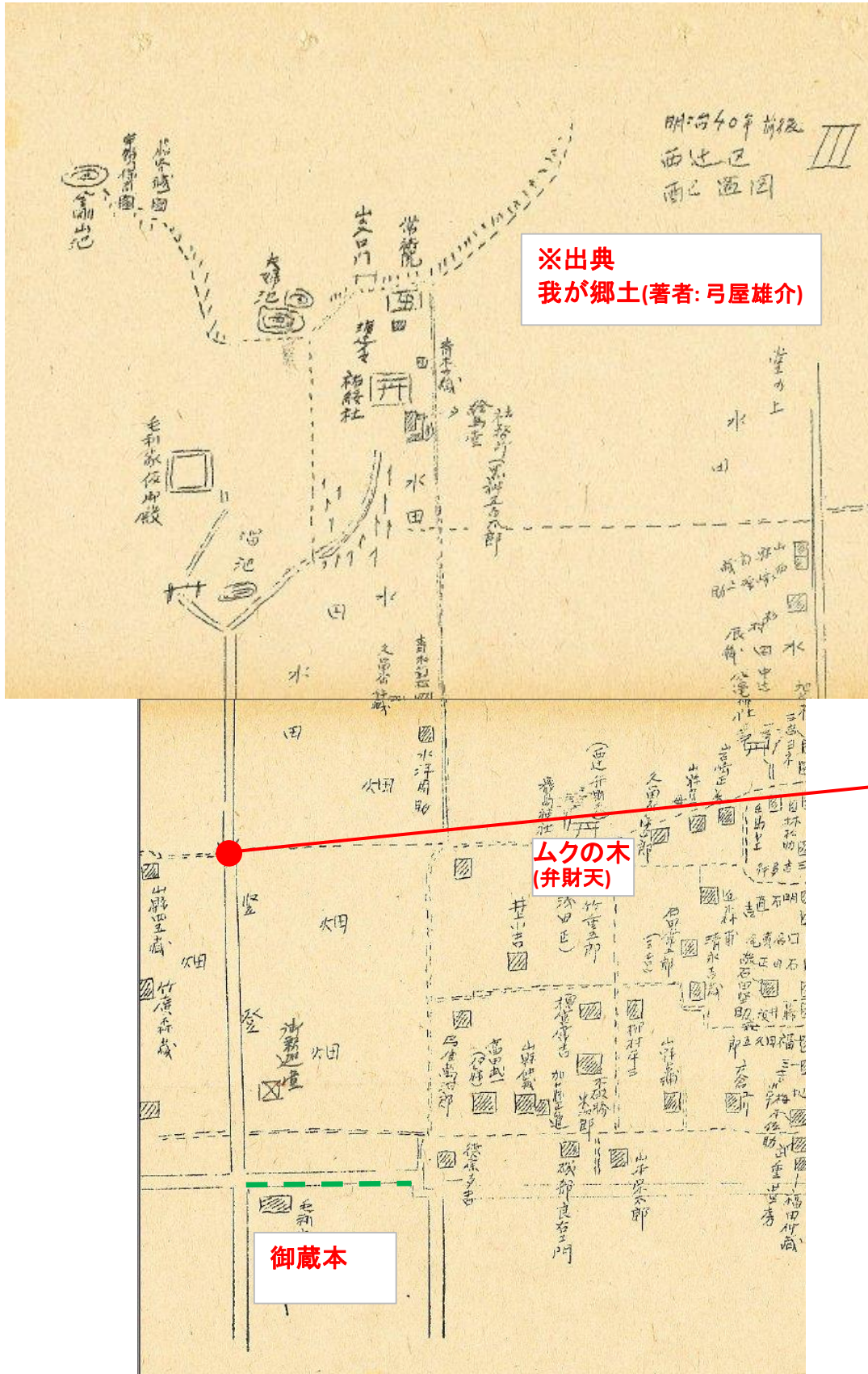


「御蔵本・道しるべ」について

2013.08.02 T.S 記

藩政時代には「御蔵本」から毛利邸までの道筋(豎登)には松・桜並木が有りました。
 その途中には祐綏神社への「道しるべ」の標石が有り、この地点より北に「桜」、南に「松」の並木があったと
玉野知之氏の投稿文献に記述されています。

→指の示す方向に50米ばかり行き、左に曲がって公園にいたる道が参道であったの記述



※現在の「道しるべ」の向き
 文献中の写真とは異なり指の方向が東でなく北方向を指して標石が設置してあります……
 この標石を歴史的な標石ととらえるのであれば、当初の方向に「再設置」すべきでは…… と思いますが

※出典
 我が郷土(著者:弓屋雄介)

玉野氏の文献中の写真
 →前方の文化会館に
 対して右折の指さし



ムクの木
 (弁財天)

御蔵本